

# 耀

— かがやき —

東北文教大学・東北文教大学短期大学部

# 同窓会会報



## ランチの仲間は同窓生

同窓会会長 佐藤 克子

今年の夏は記録的な暑さが長く続いて、日本の四季はどこへ行っただけでしょう。また、自然災害の多い年でもあり、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

そんな肉体的にも精神的にも減入っている時に、嬉しいメールが届きました。“来月のランチ会の予定は……”山短時代の仲間からです。山短を卒業して53年！その間、みんなは仕事や子育てを頑張り、その後は孫を見たり親の介護があったりと、それは皆さん様々な人生を歩んできました。そんな中でも、時間を見つけては仲間が集まり“大人の遠足”と称して旅行に出かけたり、久しぶりに山形に

帰って来た友がいれば“集合！”がかかりました。会う度に話が弾み、特に学生時代の話は途切れる事はありません。そして、いろいろと抱えている事に答を導き出してもらえるのです。

学生の頃、まだまだ若い学校の中で、上を目指し、心を燃やし、同じ思いで学び、新しい事に伸び伸びとチャレンジさせて下さった先生方には、本当に感謝です。だからこそ、卒業して53年という長い時を支え合い、楽しみを分かち合い、人生を謳歌する仲間が傍にいる事に、心から感謝したいと思います。昨年からは“誕生会”も加わって、年齢を重ねる幸せも味わっています。

さて、我が良き友よ。今度のランチ会はいつかな？



## さらに元気な東北文教大学へ

東北文教大学・東北文教大学短期大学部 学長

名誉会長 須賀 一好

夏の山形。花笠まつりのパレードが今年も盛大に行われました。われらが東北文教大学の学生たちもちろん参加しています。

その日は、あいにくの雨降りでしたが、62人の学生たちは揃いの法被をカッコよく着こなし、本学独自の笠回しや新しい振付の踊りをゴールの文翔館前まで元気に踊り抜きました。パレードの途中での卒業生の皆さんの応援は、踊る学生たちを力づけてくれたに違いありません。

「耀」同窓会の皆さん、お元気でご活躍のことと存じます。5年前の会報では、主に新型コロナへの対応について報告しました。本学は、キャンパスで対面する授業をできるだけ実施してきましたが、幸い、感染が広がることなく現在に至っています。

現在、大学は、新たに人間関係学科が加わり、人間科学部は2学科体制となりました。コミュニケーション学や心理学、社会福祉学を柱にして人間関係学を学んだ一期生が社会に巣立っています。短期大学部は、現代福祉学科が募集停止となり、規模は縮小していますが、学修の質と量を低下させることなく、学生たちは本学の学びを未来に向かって行っています。課外活動では、児童文化部をはじめとして、民俗芸能サークル「舞」、ウインドアンサンブル部、それに認知症カフェ同好会などが、元気な活動を展開しています。学生食堂も新たに「リラ」として生まれ変わり、学外の人も利用しやすくなりました。

卒業生の皆さん、ぜひ母校へ足を運んでみてください。



## 創立100周年を迎える富澤学園 ～伝統の継承と新たな飛躍に向けて～

令和8年（2026年）、富澤学園は創立100周年を迎えます。大正15年の山形裁縫女学校創立から99年間にわたり地域の教育を支え続けてまいりました。



東北文教大学は現在、大きな発展期を迎えています。令和3年には人間関係学科を新設し、1学部2学科体制となりました。子ども教育学科では教員・保育士の養成に加え、令和7年度から「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の認定を受け、デジタル時代に対応した教育を展開しています。人間関係学科では、「グローバルコミュニケーション」「心理総合」「福祉マネジメント」の3つのコース制を設置し、多様化する現代社会で活躍できる人材を育成しています。

短期大学部においても、少子化という社会情勢の中で教育の質向上に積極的に取り組んでいます。子ども学科では、社会的ニーズの高い保育・幼児教育分野の人材育成に重点を置き、きめ細かな指導体制を実現するため定員の適正化を図りながら、実践力のある保育者養成を強化しています。現代福祉学科については、これまで多くの介護福祉士を地域社会に送り出してきた実績を踏まえ、4年制大学の人間関係学科福祉マネジメントコースにその機能を統合し、より高度で幅広い福祉教育を展開することといたしました。

このような変化の時代にあっても、富澤学園は建学の精神を基盤とし、社会のニーズに応える教育機関として着実な歩みを続けています。特に、保育・教育分野での人材不足が深刻化する中、学園の強みを活かした教育に力を注いでいます。

創立100周年に向けて、学園は教育の質向上を図り、社会で真に必要とされる人材育成を目指しています。すべての同窓生の皆様に心から感謝申し上げ、100年の伝統を胸に次の100年に向けて歩む学園を、引き続き温かくお見守りください。



## 教員からの メッセージ



### これからの本学の人材育成 像と山形県との関わり

東北文教大学・東北文教大学短期大学部 副学長  
子ども教育学科 教授

鈴木 隆

耀同窓会の皆様、今日は。少しだけ堅いお話しをします。本学は、昭和41（1966）年の山形女子短期大学の開学以来、山形県が必要とする人材の育成や需要に積極的に応え、同窓会の皆様のご活躍の賜物で、「保育、介護福祉のやまたん」、また平成22（2010）年に開学した東北文教大学は、まだ15年しか経っていませんが、「子ども対応の文教」「小学校教員を目指すなら文教」と称されるように、地域社会で大変高い評価を得ています。本学の存在無しでは、山形県（引いては全国）が必要としている人材の供給が叶わないと言っても過言ではありません。

このような関係の中で、現在、山形県ではインクルーシブ教育力を有する保育・教育系人材、ダイバーシティ対応力を有する福祉系や企業系人材、等の育成を発展計画の1つの柱にしています。そこで、本学では、子ども教育学科に「特別支援学校教諭一種免許状」の取得にかかる教職課程を開設し、小学校又は幼稚園教諭一種免許状とのダブルライセンスの取得、また令和3（2021）年に開学した人間関係学科に「グローバルな視野を実感させる科目」や「公認心理師になるために必要な科目」、さらに「介護福祉士の取得にかかる科目」を開講し社会福祉士とのダブルライセンスの取得を可能にする等、教育課程の充実を図り、山形県の期待に応えることとしました。この教育課程の充実計画は文科省に認められ、今年度から補助金（5年間）の交付を受けています。

本学の山形県における立つ位置を確固たるものとして維持するためにも、耀同窓会皆様のご活躍をご期待申し上げます。



### ちがっていても『それも いいね』もいいいね

人間関係学科 教授

阿部 裕美

皆さんはNHKのEテレの番組を見ることがあるだろうか。毎日Eテレを見ながら朝の支度をしており、最近の推しは、朝7時から始まる「ザ・ウェイキー・

ショウ」である。DJウェイキーを中心に、声優自らが操るサニーストリートのパペットたちが繰り広げる子供向けバラエティーである。お目覚めクイズからダンスにライブ、英語の発音練習も料理もするしコントもありで、とにかく盛だくさんの20分間となる。

キャラクターたちは個性派ぞろいだが、基本は「ちがっていても、それもいいね」なのである。このフレーズは、人気アーティストのこっちのけんとさん作の番組テーマ曲の歌詞でもある。多様なままで互いを認め共に居るといふ、コミュニティの理想が表れている。困り事が起きてても、互いの得意を活かし、アイデアと協力でかわせる。理想的な世界、なのである。

今どきの子供向けの番組を見るにつけ、学生に伝えるべき価値観や知恵も変化すべきことがよくわかる。支度を急ぎつつ、まだまだ勉強しなくてはと反省しながら家を飛び出してゆく毎日である。



## 日々シャッポ

人間関係学科 教授  
留学生別科長

阿部いそみ

皆さま、健やかに過ごしのことと存じます。

さて、留学生別科（今年は開設27年目）の楽しい話題に限定し（フランス語などの授業でもたくさんありますが）紹介いたします。1）語彙力強化を目的に「しりとりに」を時々実施しています。「る」の番で留学生が「る、る、ええと」と悩んだ直後、自信満々に「るうがくせい」と新語をつくりだし、教室が笑いの渦に。「る」を制する者は「しりとりに」を制す。2）「あの放送はゴボウでした」と言う留学生。聞くと「誤報」のことでした。「牛蒡」と「誤報」が似ている事実を発見した瞬間。3）ある年の桜の季節、「霞城公園で花見を」と伝えると、「なぜ花をわざわざ大勢で見る必要があるのか」と問われ困惑。あたりまえを揺るがす発言にシャッポ（「脱帽」の意のフランス語Chapeau!）。直訳は「帽子」で山形弁シャッポはこの単語に由来します。

新しい発見との出会いがある「シャッポ環境」に感謝しております。



## 昔は楽しかったな～

子ども学科 教授

那須 一彦

「昔は楽しかったな～」なんて言うと、年寄りの懐古趣味に聞こえてしまいそうですが、本当に楽しい日々がありました。

空き時間になるとS先生から電話が来ます。「風呂い

がねーか」。仕事を終え駐車場に行くと、車のボンネットとドアが開け放たれています。K先生たちの悪戯です。体育館前にテントを張ってO先生達と泊まったり、「Gruppo Domani ～富澤学園の明日を考える会～」とかいって若手の先生方と事務の方が一緒になって体育館長室で語り明かしたこともありました。遊び心を持ちながらもエネルギーに前を向いていた思い出です。

朝、PML室の電源を入れに行くと学生が待ち構えています。夜、研究室に残っていると食事と入浴を終えた寮生達が楽器を吹きに音楽室にやってきます。クラブ活動も盛んで短大会でも活躍していました。学生達もいろんなことに前向きでした。

いま、みなさんは前を向いていますか？私は便利になったのに、以前より意欲的に動いていない気がします。安易に手に入ったりする分、工夫したり苦労したりすることが少なくなったような気がします。不便さや不満が自分を前向きにしてきたのでしょうか。はっきりとは言えませんが、「遊び心」がキーワードになるような気がします。今も楽しくなるように、もう一度見直してみようかなと思っています。

## 活気あふれる母校で!!

現代福祉学科長 教授 三瓶 典子

同窓生のみなさん、お元気でお過ごしですか？

それぞれの方面でご活躍のことと思います。時々、ニュースレターなどで拝見したり、大学に来てくれた卒業生のみなさんから自分の近況に加えて、同級生の活躍を教えていただき、笑顔と元気ももらっています。

私が本学に着任したのは、平成13(2001)年「山形短期大学」に校名変更して人間福祉学科が新設された年ですから、今年で24年目になります。時代のニーズに沿って令和3(2021)年に「東北文教大学短期大学部現代福祉学科」に名称を変更し、今年より東北文教大学人間関係学科(4年課程)での養成と活気あふれる母校として変化してまいりました。人間福祉学科の1期生は40代半ばを迎え職場ではベテランの域に入り施設運営に携わりながら、新人育成にご尽力されているなど、山形いや日本の将来を背負っていく一員として、人材育成を担っていらっしゃることに誇りに思っております。

これまでの苦労が沢山あったかと思えます。お互いの成長と変化を共有できるのが同窓会です。活気あふれる新しい姿の母校に是非足を運んでください。いろんなことを沢山お話ししましょう。



# 同窓会活動報告

## ◆ 令和6年度 同窓会活動報告 ◆

### ■ 奨学事業

同窓会「耀」奨学生5名採用

### ■ 役員会

令和6年7月26日(金)〈東北文教大学〉

### ■ 総会

令和6年10月13日(日)〈東北文教大学〉

- ・ 令和5年度事業・決算報告 承認
- ・ 役員紹介
- ・ 令和6年度事業計画・予算案 承認
- ・ 懇親会

### ■ 入会式

令和7年3月21日に卒業生・修了生222名は正会員・準会員となりました。

### ■ 支部活動

支部長会 令和6年7月28日(日)〈仙台市〉  
 東京支部 役員会  
 宮城支部 役員会  
 秋田支部 令和7年度支部総会に向けた役員会  
 ソウル支部 役員会・懇親会

#### 〈決算書の公表について〉

同窓会は当該年度卒業生の終身会費で運営しており、単年度決算を実施しています。

決算書等は、総会とホームページ上で公表しています。

## ◆ 令和7年度 同窓会活動計画 ◆

### ■ 奨学事業

同窓会「耀」奨学生5名採用予定

### ■ 役員会

令和7年7月31日(木) 本学会議室

### ■ 会報発行

「耀」同窓会会報 第19号 令和7年10月発行

### ■ 入会式

令和8年3月18日(水)  
 やまぎん県民ホール (山形県総合文化芸術館)

### ■ 支部活動

東京支部 役員会開催  
 宮城支部 役員会開催  
 秋田支部 支部総会 令和7年10月12日(日)  
 〈ホテルメトロポリタン秋田〉  
 ソウル支部 支部打ち合わせ開催



秋晴れに恵まれた三連休の中日、令和6年10月13日(日)、本学講義室にて「同窓会総会並びに懇談会」が盛大に開催されました。対面による総会は実に5年ぶりとなり、さらに当日は大学祭も同時開催されていたことから、キャンパス全体が活気と笑顔に包まれ、まさに祝祭の一日となりました。全国各地からは約120名もの同窓生と教職員が集い、久しぶりの再会を大いに喜び合う姿があちらこちらで見られました。

総会は和やかな雰囲気のもと、滞りなく進行しました。続く懇談会では、山形の秋の味覚である名物「芋煮」や炊き立てのおにぎりがふるまわれ、会場には温かな香りや笑い声が広がりました。懐かしい思い出話や近況報告に花を咲かせる輪があちこちでき、時の流れを超えて心がつながる様子が印象的でした。さらに、多くの教職員の方々にもご参加いただき、現在の学科の取り組みや学生たちの活躍について興味深いご紹介があり、皆さま熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

懇談会の最後は、「校歌」と「世界に一つだけの花」を全員で合唱し、会場がひとつにまとまりました。世代を超えて、母校を愛する気持ちが一つの花となり、大きく咲いた感動的なひとときでした。

懐かしい学び舎に戻り、旧友や恩師と語り合う時間は、世代を超えたつながりと母校への思いを新たにできる貴重な機会となりました。ご参加いただいた皆さまの笑顔や交流の輪が、これからの同窓会活動をさらに豊かに彩る力となることを確信しております。



# 支部だより



## 東京支部

### 会員の皆さま こんにちは

東京支部長 廣瀬 友美

新型コロナウイルス感染症が収束しはじめ、ようやく対面で役員会を開催できるようになりました。

そんな中、長い間支部活動に協力して頂いた及川憲子さんをはじめ、橋本和子さん、高倉真知子さんの3名が役員を退任されました。

新役員になられたのは子ども教育学科卒業の細谷翼さん、梅木穂乃果さん。そして、韓国出身で子ども学科卒業の朴ミヒョンさんです。皆さん保育職でとても忙しい日々ですが、来年令和8年に支部の会報「めっせえじ9」を、皆さまにお届けできるよう現在活動中です。

支部の原点である、同窓生との語り合いを大事に、元気になる東京支部を目指し活動していきたいと思っております。



前列左から廣瀬、細谷、梅木  
後列左から及川、橋本、高倉、朴

## 秋田支部

### 秋田支部同窓会「こまち会」です。

秋田支部長 遊谷 里美

こんにちは。会報で挨拶するのは初めてとなります。支部創立以来、先陣を切ってご尽力くださった加賀谷潤子氏が4年前にご逝去されました。その後任として以降支部長を務めさせて頂いております。

新型コロナウイルスで中止、延期になっていた「秋田支部総会」が9年振りに多くの方々の協力を得て、ようやく10月12日に開催する事が出来ます。加賀谷氏も以前よりこの開催を楽しみにしておられましたので、きっと天国から喜んでいる事でしょう。

秋田支部は創立から24年！同じ「学び舎」から巣立ち、それぞれの人生を歩んでおられる会員が約650名おられます。「幸多かれ！」のエールを贈り、お会い出来る機会を楽しみにしております。



あったか〜い  
「こまち会」です！

## 宮城支部

### 逆境を追い風に変える連帯の力

宮城支部長 熊谷 浩子

皆様お元気でしょうか。宮城支部は、令和4年度で30周年を迎えました。これも一重に大学の皆様をはじめ、支部会員、歴代役員皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

私たちの周りには、挑戦すべき課題が山積みしています。物価の高騰は生活に大きな影響を与え、気候変動は未来を脅かしています。しかし、私たちはこうした逆境をただ受け入れるだけでなく、追い風に変える力を持っています。旧山形女子短期大学・東北文教大学学生時代、私たちは様々なことに挑戦し、失敗から学び成長しました。あの時、共に夢を語り合った仲間が、それぞれの場所で新しい価値を生み出し、社会に貢献しています。この厳しい時代だからこそ、同窓生同士の繋がりやを改めて大切にしたいものです。情報や経験を共有し、お互いを励ましあい、共に困難を乗り越えていきましょう。

この会報が、皆様の挑戦のきっかけとなり、新たな連帯を生み出すことを願っています。



宮城支部の皆さん

## 韓国ソウル支部

### ソウル支部だより

韓国ソウル支部長 張 珉淑

この度、ソウル支部に新たな出会いが生まれ、これまでにない豊かな交流の輪が広がることとなりました。

2025年3月、やまがたグローバル人材育成コンソーシアムの関連でソウルをご訪問された澤先生を通じて、「山形べにばな会」という山形を愛する方々の集いをご紹介いただきました。このご縁により、卒業生の皆さまだけでなく、山形に心を寄せる多様な方々との新しいつながりが生まれたことを、心より嬉しく思っております。

先日開催された交流会では、山形に深い愛着をお持ちの韓国在住の皆さまにご参加いただきました。故郷への想いや貴重な思い出を分かち合い、またソウルでの暮らしに役立つ実用的な情報も活発に交換され、大変充実した時間となりました。

今後、この「山形べにばな会」が日頃の近況をお互いに報告し合える貴重な場となり、懐かしいお顔との再会を楽しめる温かな機会となることを願っております。

これからもソウル支部と山形べにばな会が手を携え、卒業生をはじめ山形を愛するすべての方々が心豊かに集える、温もりあふれるコミュニティの発展に努めてまいります。



卒業生と山形べにばな会の皆さん

## 支部長会

### 支部長会 ～耀同窓会の『今』と「未来」を語り合う～

耀同窓会事務局長 横沢 文恵

年に一度『支部長会』を開催して、山形本部と各支部の活動報告と情報交換をしています。今年度は、7月13日(日)に山形市で開催しました。佐藤会長はじめ各支部長が参加し、主に同窓会の現状と課題、今後の展望について話し合いがなされました。毎年、大変有意義な意見交換の場となっています。



宮城支部長 熊谷浩子  
東京支部長 廣瀬友美  
会長 佐藤克子  
秋田支部長 遊谷里美

# 会員だより

## つながりに感謝

国文科（S51卒業）  
社会福祉法人敬愛信の会 理事長

### 遠藤 法子

卒業して何年？正確な年数が直ぐ出てこないほど年月が経っていますが、同窓生の方々と顔を合わせると一気に若返った気持ちになります。同じ学び舎で学んだ仲間が、それぞれそれぞれの舞台で活躍している様子を拝見すると、自分にも元気・勇気・活気が湧いてくるのが分かります。大学というのはある種のパワースポットかも知れません。

「母校である大学をもっとよくしたい」と、在職中は、事務職の立場として大学改革に全力で挑戦し続けました。他大学に先駆けての企業研究会や各種イベントの開催、外部への情報発信等を行いました。同時に本学への要望等を聞き入れ改善できたことが、受験生の増加や就職率向上に、僅かですが貢献できたのではと自負しております。この時、母校が社会に認知された実感がありました。

また、私のライフワークの一つでもある卓球を通し、監督として直接学生の指導ができたことが私の誇りです。卓球は技術の向上だけではなく、人としての大事な思いやり、挑戦することの大切さを教えてくれます。私は学生と共に成長できたと思います。卓球を通して培われた他校の監督さんや選手、高校の顧問・卓球協会の方々とのネットワークも、かけがえのない私の宝物です。

私は卒業後、母校にお世話になり46年間の勤務を終え、現在は社会福祉法人「敬愛信の会」で理事長を務め、子どもたちの成長を見守っております。大学からは毎年優秀な学生を紹介していただき、保育職の現場で活躍しております。改めて、このつながりに御礼を申し上げます。



卓球部学生との懐かしい思い出



在職中お世話になった故渋谷先生と同僚

## 回想

幼児教育科（S57卒業）  
社会福祉法人慈風会 飯塚はらっぱ保育園 園長

### 田村 裕子

同窓生の皆さん、心穏やかに元気に過ごしておりますか？

私は、旧山形女子短期大学幼児教育科を卒業して以来、少し前に還暦を迎えた現在も市内の保育園に勤務しています。

毎朝、様々な表情で登園してくる子どもたちのありのままを受け入れ、忙しそうに仕事に向かう父母たちを笑顔で送り出す充実した日々を送っています。

又、私事では、現在7人の孫に恵まれ、我が子とはまた違う愛しさを感じながら幸せにくらしております。

さて、思い起こせば四十数年前、短大校舎西側に「駒草寮」があり私は一年間そこで暮らしました。地方の方言が飛び交い、話題も尽きないほど賑やかで楽しいところでした。でも時折、窓から見える家々の明りにふと寂しさを感じ自宅が恋しくなったこともありました。懐かしい思い出です。駒草寮に入っていた皆さん、お元気でしょうか…。

短大を卒業した後も、実習を引き受けた際に来園された恩師と再会し、思い出話や保育のこと、学生様々の状況のお話をする機会に恵まれました。又、同じ職場で働いた短大の先輩や後輩と、何かあれば連絡を取り合っていて、今となれば「健康」「旅行」「介護」の話題が多くなっている状況ですが、長年こうしてつながっていただけることは私の財産です。

この度、執筆の機会をいただき、山短時代を振り返ることができました。恩師や同級生の若かった時の顔や出来事を思い出すことができましたし、同時に自分の歩んできた保育の仕事や子育ては本当に楽しかった、幸せだったなあと感じています。これからの人生、無理せず頑張りすぎず、自分も含めてみんなの事を大事にしていこう、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の詩のように、静かに、穏やかに、欲張らず、人を思いやれる人間として生きていきたいと思っています。



大好きな絵本コーナーの前で

## 介護の仕事をつづけて

人間福祉学科 (H15卒業)  
医療法人社団悠愛会 介護老人保健施設あこがれ 勤務

### 黒田 範彦

施設が開設すると同時に新卒で入社し23年目を迎えました。私が勤務する介護老人保健施設あこがれ通所リハビリテーションは、様々な職種と連携しご利用者の在宅生活を支援しています。

在学生の頃、介護実習中にご利用者の似顔絵を描いてプレゼントし、大変喜ばれた思い出があります。ただ似ている様に描くのではなく、私の場合笑った最高の表情を描く「笑顔絵」です。仕事に就いたら是非この特技をどこかで活かしたいと思っていました。今ではその夢が叶い、毎年敬老会行事で歳祝いの対象者に似顔絵をプレゼントしています。受け取った方は涙を浮かべて喜ばれます。また、行事等では歌や踊りを披露し、大きな歓声に包まれた時には大変感動します。エネルギーを出せば倍になって返ってきて、皆様からパワーをもらい励まされ、まさに「介護」ではなく「介護互」です。

この様に私の仕事には毎日数々のドラマと感動があり充実しています。そして私の周りの仲間も一人一人才能あふれる腕前の持ち主で、ライバルでもあり親友のような存在です。そういった素晴らしい仲間を支えられ、自分らしく楽しく仕事ができる毎日に感謝しています。これからも「希望」「感謝」「感動」の3Kを大切に仕事をしていきます。



手作り獅子舞

## 「夢」と「仲間」

子ども教育学科 (H30卒業)  
山形市立蔵王第一小学校 勤務

### 後藤 龍星

私は幼い子と遊ぶことが大好きで、中学生の時から「子どもと関わる職に就きたい。」と夢を持っていました。この夢を叶えるために、東北文教大学に入学しました。大学では、たくさんの経験を積むことができました。特に、大学時代の仲間との時間は、かけがえないものでした。やはり、人生は楽しいことばかりではなく、辛い時、悲しい時もありました。一人だったら挫折していたかもしれませんが、お互いに励ましあったり、語り合ったりと楽しいことも嫌なことも吐き出



卒業式当日の一枚

せるそんな友達がいたから乗り越えられました。実際に、教員採用試験に2回落ちました。一緒に落ちてしまった仲間もいます。声をかけてくれた仲間もいます。そんな分かり合える仲間がいて本当に良かったと思っています。

今は、蔵王第一小学校の4学年主任として頑張っています。昨年度は、千歳小学校で初めて卒業担任を務め、子どもたちを送り出しました。教員生活は8年が経ち、今年で30歳を迎えました。新しい仲間も増え、ますます励まされています。これからも子ども達のために頑張っていきたいと思います。同窓生の皆様も、仲間と共にこれからの人生を楽しんでいきましょう。

## 学びを糧として

人間関係学科 (R7卒業)  
株式会社ジョイン 平安典礼 勤務

### 小林 勇輝

「東北文教大学と、人間関係学科と出会えて良かったです。」社会人になった今、私が切実に思っていることです。私が学んだ人間関係やコミュニケーションに関する知識は、教科書や学校では改めて学ぶ機会は少ないものの、生を受けている人間が向き合わなければならない重要なものだと考えています。そんな、非常に奥深い学びが出来たこの4年間は、私にとってかけがえのない財産となりました。

他にも、ボランティアやサークルではかけがえのない仲間と出会いました。様々な活動に挑戦し、積極性や協調性を身につけられたことも、今の私がある原点のように思えます。

今は葬祭業に従事し、人生最後の儀式である葬儀のお手伝いをしています。しみじみ、他者と良好な人間関係を築くことや相手に寄り添うコミュニケーションスキルの体得が重要と痛感しております。でも私には、人間関係学科で学んだという糧があります。たとえ壁にぶつかっても、大学での学びと経験が、私の背中を押してくれることでしょう。大学と結ばせていただいたご縁とはもちろん、これから出会う方一人ひとりとのご縁を大切に、一度きりの人生を充実させるべく、毎日を大切に過ごしていきます。



社会人一年目 日々の積み重ねあるのみ!

## 令和6年度東北文科大学「耀」同窓会決算書

## 1. 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減	摘要
(1) 入会金・終身会費	2,076,000	2,076,000	0	10,000円×207名、 3,000円×2名
(2) 総会会費	1,000,000	1,000,000	0	記念事業積立金より
(3) 繰越金	276,203	276,203	0	前年度繰り越し
(4) 雑収入	0	58,718	58,718	受取利子218円、総会 参加費 58,500円 (500 円×117名)
合計	3,352,203	3,410,921	58,718	

## 2. 支出の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減	摘要
(1) 事業費	2,500,000	2,015,332	△ 484,668	
1) 周年事業費	0	0	0	
2) 総会費	2,500,000	2,015,332	484,668	総会案内状印刷・発送代、 懇親会費等
3) 会報発行費	0	0	0	
4) 大学祭協賛事業	0	0	0	
(2) 支部助成	370,000	370,000	0	東京・宮城・秋田・ソウル支部
(3) 通信費	15,000	1,172	△ 13,828	はがき・切手代等
(4) 会議費	80,000	48,362	△ 31,638	各会議費
(5) 事務費	180,000	132,180	△ 47,820	
1) 備品・消耗品	10,000	0	△ 10,000	
2) 名簿管理費	110,000	104,500	△ 5,500	名簿整理・メンテナンス料
3) 旅費	60,000	27,680	△ 32,320	交通費
(6) 慶弔費	120,000	104,285	△ 15,715	会員慶弔費、式典スタン ド花、大学祭お祝い金他
(7) 予備費	37,203	0	△ 37,203	
(8) 事業費積立金	50,000	50,000	0	
(9) 返金	0	0	0	
合計	3,352,203	2,721,331	△ 630,872	

収入総額 3,410,921円 - 支出総額 2,721,331円 = 差引残高 689,590円 (次年度へ繰り越し)

## 令和7年度東北文科大学「耀」同窓会予算書

## 1. 収入の部

(単位:円)

項目	昨年度予算額	予算額	増減	摘要
(1) 入会金・終身会費	2,076,000	2,166,000	90,000	216名 (@10,000)、 2名 (@3,000)
(2) 総会会費	1,000,000	0	△ 1,000,000	
(3) 繰越金	276,203	689,590	413,387	
(4) 雑収入	0	0	0	
合計	3,352,203	2,855,590	△ 496,613	

## 2. 支出の部

(単位:円)

項目	昨年度予算額	予算額	増減	摘要
(1) 事業費	2,500,000	1,680,000	△ 820,000	
1) 周年事業費	0	0	0	
2) 総会費	2,500,000	0	△ 2,500,000	
3) 会報発行費	0	1,600,000	1,600,000	会報製作費・郵送代他
4) 大学祭協賛事業	0	80,000	80,000	
(2) 支部助成	370,000	420,000	50,000	東京・宮城・秋田・ソウル支部 ※秋田支部総会補助5万含む
(3) 通信費	15,000	15,000	0	はがき・切手代等
(4) 会議費	80,000	130,000	50,000	各会議費、秋田支部 総会参加費
(5) 事務費	180,000	330,000	150,000	
1) 備品・消耗品	10,000	10,000	0	事務用品等
2) 名簿管理費	110,000	110,000	0	名簿整理・メンテナンス料
3) 旅費	60,000	210,000	150,000	交通費他・秋田支部 総会旅費
(6) 慶弔費	120,000	120,000	0	大学祭祝い金、式典スタン ド花、会員慶弔費等
(7) 予備費	37,203	107,590	70,387	
(8) 事業費積立金	50,000	50,000	0	
(9) 返金	0	3,000	3,000	
合計	3,352,203	2,855,590	△ 496,613	

## 「耀」奨学事業 令和6年度決算書

## 1. 収入の部

(単位:円)

項目	決算額	摘要
奨学事業基金	312,384	前年度より繰越
記念事業積立金	3,000,000	
雑収入	1,280	利息
合計	3,313,664	

## 2. 支出の部

(単位:円)

項目	決算額	摘要
奨学金	500,000	令和6年度5名採用 (@100,000×5名)
合計	500,000	

収入総額 3,313,664円 - 支出総額 500,000円 = 差引残高 2,813,664円 (次年度へ繰り越し)

上記決算の監査の結果、正に相違ありません。

令和7年7月9日

会計監査 川田孝子 ㊞

会計監査 後藤裕美 ㊞

## 「耀」奨学事業 令和7年度予算書

## 1. 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	摘要
繰越金	2,813,664	
奨学事業基金	0	
合計	2,813,664	

## 2. 支出の部

(単位:円)

項目	予算額	摘要
令和7年度奨学金	500,000	5名 (@100,000×5名)
合計	500,000	

収入合計 2,813,664円 - 支出合計 500,000円 = 見込残高 2,313,664円

## 編集後記

この度の「耀同窓会会報」では、創立100周年を迎える富澤学園と、大学の先生方の現況や、元気にご活躍されている同窓生の皆さまをご紹介いたしました。改めて、伝統の重みと未来への期待を感じております。本号が同窓生の皆さまの絆を深める一助となれば幸いです。

また、会員の皆さまからの情報等は随時ホームページにてご紹介いたしますので、どうぞお気軽にお寄せください。引き続き、同窓会活動へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【編集委員】 澤・佐藤克・長岡・山川・古田  
遠藤・横沢・安部・後藤・青柳

東北文科大学・  
東北文科大学短期大学部同窓会

HPIはこちら



<https://www.t-bunkyo.ac.jp/alumni/>